

2020年度 吉賀高校 育成したい資質・能力 ルーブリック評価表

資質・能力		レベル		レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
				習得以前	単独の習得	複数の組立て	関連付け・まとめ	発展・社会への応用
★コミュニケーションスキル	人間関係形成・社会形成能力	当事者意識	何事にも自分ごととして取り組むことができる	他人任せにしたり、すぐ人のせいにしたりする。自力で課題に取り組むことができない。	任された仕事や課された課題をやることができる。	任された仕事や課された課題が、どのような意義があり、自分がどう成長できるかを考えることができる。	身の周りの、一見自分とは関係なさそうなことでも、自分にとって有意義なことだと考え、積極的に課題を見つけて取り組むことができる。	地域社会の出来事や、学問として学ぶ知識も全て自分や周りの人と関係があると考え、積極的に課題を見つけて取り組むことができる。
		表現力	自分の意見を適切に伝えることができる	自分の意見や考えをうまく相手に伝えることができない。	自分の意見や考えをもち、相手に伝えることができる。	自分の意見や考えを、筋道を立てて相手に伝えることができる。	論理的に根拠を提示し、話し方を工夫したりして、自分の意見や考えを相手に伝えることができる。	論理的に根拠を提示し、説得力をもって、地域社会の多様な相手に対し、自分の意見や考えを伝えることができる。
		協働する力	多様性を尊重しながら合意を形成し、他者と協働できる	他者と関わろうとしない。集団全体に言われたことは他人任せにする。	他者のことには関心はないが、集団の中で自分に与えられた仕事をする事ができる。	集団内での自分の役割を、自分から考えて、与えられた仕事以外もすすんで行動し、その集団に貢献できる。	自分にできること、他者にできることを理解し、お互いの進捗状況を確認しながら、声をかけて助け合う行動をとることができる。	周りの人を巻き込みながら仲間を増やし、他のグループや地域の人とも協働できる場面があれば積極的に声をかけ、ともにプロジェクトを進化させることができる。
★インディペンデンス	自己理解・自己管理能力	メタ認知	集団の中の自分、社会の中の自分を俯瞰して捉えられる	自分の長所・短所や得意・不得意がよくわからない。集団の中の自分の位置や、他人から見た自分の姿を考えようとしめない。	自分の長所・短所や得意・不得意を言うことができる。	他者との関係の中で、自分が今どういう状態かが分かる。他人が自分のことをどう思っているかを考えることができる。	集団の中の自分、他者から見た自分を考えたいうえで、自分の感情をコントロールしたり、何をすべきかを考えることができる。	自分を客観的に捉えることができ、他者とも良好な関係を築くことができる。新たな自分を発見し、地域社会にどう貢献できるかを考えることができる。
		忍耐力	決めたことを粘り強く取り組むことができる	すぐにあきらめてしまう。他者のせいにしたり言い訳をしたりして、途中でやめてしまう。	何かしらの強制力が働いている状態で、負荷も少なく、短期間で区切ってあれば、最後まで取り組むことができる。	何かしらの強制力が働いている状態で、長期間で負荷のかかるものにも最後まで取り組むことができる。	強制力が働いていない状態でも、自分で決めたことを一定の長い期間やりきることができる。	自分で決めたプロジェクトや、地域社会で必要だと思ったことを進んでやり、継続することができる。
		向上心	自分自身を高めるために、もっと学ぼうとする	もっと良くしよう、もっと学ぼうという意欲を持ってない。	自分をもっと良くしたい、力を伸ばしたいと願い、目標を掲げることができる。	自らが掲げた目標を達成するために、努力することができる。	一つの目標を達成しても、また次の目標を掲げ、達成しようと努力することができる。	常に現状に甘んじることなく、適切な目標を掲げ、モチベーションを維持しながら前向きに努力し続けている。
		挑戦する力	少々困難に思えることでも果敢にチャレンジする	何事にも前向きに取り組めない。積極的にやろうという意欲を持ってない。	自分の興味・関心のあることに関しては、「挑戦しよう」と前向きな気持ちで取り組むことができる。	自分の興味・関心があることに関しては、困難にぶつかってもあきらめずに、最後までやり遂げることができる。	自ら新たなチャレンジを見つけ、積極的に取り組むことができる。	自ら新しいチャレンジを見つけ、困難にぶつかってもあきらめずに、最後までやり遂げることができる。
★グローバルリズム	課題対応能力	計画力	目標達成までのプランを立てることができる	何をすればよいか分からず、計画を立てることができない。	与えられた課題に対して、与えられた計画どおりに取り組むことができる。	目標を設定し、それを達成するための計画を立てることができる。	目標達成のために立てた計画を実行してみ、必要な修正点を見つけてことができる。	実践したことを振り返って課題を整理し、さらに高い目標に向かって計画を立て直し、実行に移すことができる。
		思考力	さまざまな視点から物事を捉え、論理的に考えることができる	課題に対して深く考えることができない。	根拠はあいまいだが、課題に対する解決策を考えることができる。	課題に対して、ある一つの視点から解決策を考え、その効果や問題点を考えることができる。	課題に対して、複数の視点から解決策を考えた上で、より良い解決策を練ることができる。	社会の様々な課題に対して、複数の視点から考え、情報を整理分析し、解決策を複数考えることができる。
		行動力	仮説の検証、課題の解決のために行動を起こすことができる	失敗を恐れて自分から行動できない。	指示されれば行動に移すことができる。または、仲間と一緒に行動できる。	他者から指示されなくても、自分でやるべきことを考え、行動できる。	自分のためだけでなく、他者のため、地域のために考え、行動できる。	地域社会の様々な課題に対して、解決策を考え、積極的に行動することができる。
		失敗から学ぶ力	失敗して原因を明らかにし、次の実践に活かすことができる	同じ失敗を何度も繰り返し、失敗しても原因を追究することができない。	失敗したことを認識できている。	なぜ失敗したのか、その原因を考えることができる。	同じような失敗をしないためには、何が必要なのかを考え、次の新たな挑戦の準備ができる。	挑戦と失敗を繰り返しながらも、経験値を増やし、大きな挑戦へとつなげることができる。
★フューチャーオリエンテーション	キャリアプランニング能力	内省力	ものごとを振り返り、自己評価ができる	自分の言動が、良かったのか悪かったのか判断できない。	自分の言動が、良かったのか悪かったのかを判断できる。	自分の言動が、なぜ良かったのか、なぜ悪かったのか、原因やその背景を分析できる。	自分の言動や感情を振り返り、自分が望んでいることを把握し、そのことについて実践しているかを確かめることができる。	自分が望んでいることや言動が、周囲や社会にどう影響するかを考えながら、振り返り、修正することができる。
		想像力	他者の考えやこれから起こることを想像することができる	相手の立場に立って考えることができない。先の見通しを立てることができない。	自分とは異なる考え方や立場を理解しようとしている。また、これから何が起こるかを考えようとしている。	自分の立場と異なる他者にも共感することができる。また、自分が起こした行動のあとにどのようなことが起こりそうか考えることができる。	自分とは異なる様々な立場に立って考えることができる。また、これから起こりそうなことを様々なパターンで考えることができる。	自分の将来や地域社会の未来について様々な角度から固定概念にとらわれずに考えることができる。また、想定外の出来事にも臨機応変に対応できる。
		広い視野	地域や世界の人々から様々な情報を収集して自分の考えを形成できる	地域社会のできごとに関心がなく、興味のあることしか情報を収集できない。	自分の身近な地域社会や地域の人に対して関心を持ち、情報を収集し、現状や課題をいくつか挙げる事ができる。	自分の地域社会の課題に対し、例えば「賛成と反対」「企画者と利用者」のような異なる二つ以上の視点から考えることができる。	自分の地域社会と他の地域社会で起きている課題にも目を向け、共通点と相違点を明確にして、問題点を整理することができる。	自分の地域社会の課題と、他の地域社会で起きている様々な課題を関連付け、これまでの学習内容や情報を活用し、問題の構造を複数の視点から考えることができる。